

## 広報・教育部門

## 応募事例名

## マンホールとキャラでPR! まちの上下水道をもっと身近に

応募団体名)神奈川県小田原市

## 応募事例の概要

○小田原市下水道整備課では、「新たな創造」を1つの将来像に掲げ、これまでマンホール蓋やInstagramを活用し、下水道事業への理解を深めるための様々な施策を展開していますが、小田原の観光資源として街中の賑わい創出と地域活性化を目的とした公民連携による「小田原市デザインマンホール蓋設置事業」をはじめ、令和3年度からの上下水道事業統合を契機に職員がデザイン開発したイメージキャラクターの「おみずまる」をイベント等で活用することで、経済的かつ効果的な広報活動を行いました。

## 応募事例の内容

## ○デザインマンホール

申請者(商店会・団体等)の費用負担によりデザインプレートを製作し、市が設置管理するなど公民連携により、新たなデザインマンホール蓋が次々に誕生しています。小田原駅周辺には、「ガンダム」、「MFゴースト」など小田原市に関わるデザインマンホールが設置され、NPO法人小田原ガイド協会によるデザインマンホールを巡る「街あるき」には、市民や遠方のマンホールの方にご参加いただきました。これまでにマンホールカードは6種類約15万枚配布しており、デザインマンホール関連グッズの累計売上額は約600万円になります。また、令和3年度から地元の高校生がデザインしたマンホール蓋を設置しています。



(令和6年度末22箇所)

★はガンダムマンホールプロジェクト



(まちあるきイベント)

## ○イメージキャラクター「おみずまる」

令和7年4月1日に誕生した「おみずまる」は、4月5日に開催した「おだわら下水道桜まつり」で市民等にお披露出し、イラスト付きの間伐材コースター、フリスビー、シールの配布や、子どもたちを対象とした塗り絵コーナーを設けるなど、来場者とふれあいました。イベント来場者数は451名、塗り絵の参加は70名でした。また、職員の名刺や工事回覧等に幅広く活用しており、HPやSNSでも情報発信しています。上下水道局の庁舎入口では、「おみずまる」が来訪者を出迎えてくれます。



イベント案内



塗り絵



「おみずまる」パネル

## PRポイント

- ・デザインマンホールは、アニメ、鉄道、歴史など小田原市に関わる様々なデザインプレートがあり、公民連携のもと若年層をはじめ幅広い層から下水道への理解・関心を得られています。
- ・イメージキャラクター「おみずまる」は、白Tシャツと手袋のコスチュームで清潔感を表現した愛らしいデザインで、「おだわら」の「みず」にちなんだネーミングとしました。
- ・上下水道の事務職・技術職が一丸となって連携し、経済的かつ効果的な広報活動を行っています。

下水道整備課、主事補  
浜辺咲南

## 取組みに関するエピソード

- ・デザインマンホールを巡る「街あるき」では、参加者に蓋開け体験等を通じて下水道への関心を持っていただく機会となりました。(たくさん歩いてヘトヘトでした^^;)
- ・上下水道局職員によるイメージキャラクターの開発を通じ、職員同士の絆と連携が強化され、親しみのあるキャラクターが誕生しました。(眉毛がかわいい♡)
- ・これからも、デザインマンホールとイメージキャラクターを活用することで、多くの観光客や市民の方に小田原市の上下水道事業に興味・関心を持っていただく機会を設けていきたいです。(´・v・´)ヨロシク